

eラーニング研修と 教育ビッグデータ活用に関する調査報告書

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>

目 次

1. 調査概要	3
2. まとめ	5
3. 調査結果のポイント	6
4. アンケート調査結果	10
5. 調査データ【業種別クロス表】	25

1. 調査概要

調査概要

- 調査目的** : 組織におけるeラーニング研修と教育ビッグデータの活用の現状を調査する。
調査期間 : 2017年7月7日(金)~7月9日(日)
調査方法 : Webアンケート方式
調査地区 : 全国
調査対象 : eラーニング研修を導入している企業・官公庁の人事担当者 計105名

調査項目

1. 現在実施しているeラーニング研修の詳細
2. eラーニング研修で使用している教材
3. eラーニング研修の導入理由
4. 研修・セミナーの社内における重要度と予算配分
5. 研修の受講履歴の管理方法
6. 研修の受講履歴分析の活用
7. 企業研修分野における教育ビッグデータ活用の認知度
8. 教育ビッグデータ活用で解決したい教育研修の課題
9. 企業研修分野における教育ビッグデータ活用の課題

回答者属性

- 性別内訳** : 男性77名(73.3%)、女性28名(26.7%)
- 年代別内訳** : 20代4名(3.8%)、30代27名(25.7%)、40代33名(31.4%)、50代33名(31.4%)、60代8名(7.6%)
- 業種内訳** : 建設4名(3.8%)、運輸6名(5.7%)、製造21名(20%)、情報通信9名(8.6%)、金融・保険11名(10.5%)、卸売・小売8名(7.6%)、医療・福祉1名(1%)、教育4名(3.8%)、サービス7名(6.7%)、公務7名(6.7%)、その他7名(6.7%)、不明20名(19%)
- 職種内訳** : 人事採用担当者 37名(35.2%)、人事研修担当者 31名(29.5%)、人事その他担当者 37名(35.2%)
- 従業員数内訳** : 100名以下 30名(30%)、101～500名 26名(26%)、501～1000名 13名(13%)、1001～5000名 19名(19%)、5001名以上 12名(12%)
- 地域内訳** : 東北地方 3名(2.9%)、関東地方 55名(52.4%)、中部地方18名(17.1%)、近畿地方 20名(19%)、中国地方 1名(1%)、九州地方 8名(7.6%)

2. まとめ

eラーニング戦略研究所は2017年7月、eラーニング研修を導入している企業・官公庁の人事担当者105名を対象に、eラーニング研修と教育ビッグデータ活用についてのアンケート調査を実施しました。

その結果、実施されているeラーニング研修の内容は「コンプライアンス」が最多で77.1%、次いで「情報セキュリティ」69.5%、「個人情報保護」57.1%、「ハラスメント」52.4%、「ビジネススキル」36.2%、「安全管理」「専門知識」21.9%となりました。コンプライアンスや情報セキュリティ、個人情報保護に対する組織の取り組みが重要視されるなか、eラーニングがその教育に大きな存在感を示していることが分かります。その一方で、専門知識のeラーニング化は少ないことが読み取れます。しかしながら、最近では、これまで主流だった座学などの“知識教育型eラーニング”からOJTなどの“経験学習型 eラーニング”へと広がりが見られることから、今後は専門知識や業務ノウハウなど組織独自の内容のeラーニング化が加速する可能性も考えられます。

eラーニングやLMS（学習管理システム）の普及、そしてインターネットの発展により起こったもう一つの大きな変化は、膨大な受講履歴データを取得可能となったことです。アンケートの結果、実に8割以上が研修の受講履歴や結果を収集・分析し活用していることが明らかとなりました。主な活用先は「研修コース・内容の見直しや改善」57.1%、「教材・コンテンツの見直しや改善」43.8%、「研修時期・時間や受講方法の改善」30.5%、「人事評価」18.1%で、「活用していない」17.1%を大きく上回っています。

こうした学びに関する様々な受講履歴や行動履歴、成績データなどの総称はいわゆる“教育ビッグデータ”と呼ばれるものです。教育ビッグデータの分析や活用手法の確立はこれからの課題ですが、eラーニング研修が普及期に入った今、日々蓄積されていく膨大なデータの有効活用はすべての組織にとって取り組むべき大きなテーマと言えるでしょう。アンケートでも「対象者の絞り込みでより高い学習効果を上げたい」「どのような研修を受けるべきかデータに基づき説得力を持って提案したい」など人事担当者の考える方向性が明らかとなり、教育ビッグデータ活用による新しい企業研修への関心の高さがうかがえる結果となっています。

3. 調査結果のポイント

■ eラーニング研修の内容は「コンプライアンス」「情報セキュリティ」「個人情報保護」、専門知識や業務ノウハウのeラーニング化は限定的

現在、企業や官公庁で実施されているeラーニング研修の内容は「コンプライアンス」(77.1%)が最も多く、次いで「情報セキュリティ」(69.5%)、「個人情報保護」(57.1%)、「ハラスメント」(52.4%)、「ビジネススキル」(36.2%)、「安全管理」「専門知識」(21.9%)となった。

組織で実施されているeラーニング研修内容が多岐にわたり、なかでもコンプライアンスや情報セキュリティ、個人情報保護に対する組織の取り組みが重要視されるなか、eラーニングがその教育に大きく貢献していることが分かる。その一方で専門知識のeラーニング化は少なく、eラーニングがひろく普及した今でも専門知識や業務ノウハウといった組織独自の内容のeラーニング化は限定的であることが読み取れる。

この研修内容は業種によって異なる結果となっている。例えば、「情報セキュリティ」は情報通信業でのeラーニング研修率100%だが、公務では28.6%、運輸では33.3%と低い。「ビジネススキル」や「専門知識」は医療・福祉業では100%だが、卸売・小売では12.5%、0%という結果だった。これは、該当内容がeラーニング化はされていないものの集合研修やOJTなどで教育されているケースと、該当内容の教育自体があまり実施されていないケースが含まれるものと推察される。

■ eラーニング研修は「年数回」「全社員対象」「オフィスのデスクでパソコン使用」が主流

eラーニングの実施頻度は「年1~4回」(57.1%)が過半数を占めたが、「随時実施」も22.9%に上った。eラーニング研修は「全社員」(77.1%)を対象としたものが主流で、受講場所は「オフィスのデスク」(83.8%)、受講デバイスは「パソコン」(96.2%)が多かった。また、eラーニング研修で使用される教材は「映像教材」(47.6%)、「テスト問題」(45.7%)、「スライド型教材」(43.8%)が多いことが分かった。

■ eラーニング研修の導入理由1位は「集合研修のコストカット・効率化」

eラーニング研修を導入した理由を尋ねたところ、

「集合研修のコストカット・効率化」(52.4%)が最多となった。そのほかに導入理由として多かったのは「一人ひとりのペースで手軽に学べる」(51.4%)、「多数の社員の一斉教育が可能」(41.9%)、「遠隔地でも同一教育の提供が可能」(35.2%)、「集合教育の実施が困難」(30.5%)などだった。このことから、集合研修や従来の教育研修に課題がありそれを解決する手法としてeラーニングが選ばれているようだ。

導入理由に「集合研修のコストカット・効率化」を挙げた業種は、

「金融・保険」(72.7%)、「運輸」(66.7%)、「卸売・小売」(62.5%)の順に多かった。

「一人ひとりのペースで手軽に学べる」を挙げた業種は、

「情報通信」(77.8%)、「建設」(75.0%)、「卸売・小売」(62.5%)の順となった。

■ eラーニング研修の予算は集合研修の約半分か

次に、実施中の研修群の予算比率を尋ねたところ、

集合研修5.00に対しeラーニング研修2.74、社外セミナー1.90（全体を10とした平均値）で、eラーニング研修の予算が集合研修の約半分であることが明らかとなった。

前述した通り、eラーニング研修の導入理由の1位が集合研修のコストカット・効率化であることから、eラーニング研修の導入により当初の目的をある程度達成しているケースが多いものと考えられる。

■ 「集合研修とeラーニング研修の受講履歴を統合管理」しているのは極少数であるものの、8割以上が分析結果を研修改善・人事評価に積極活用

eラーニング研修の利点のひとつに受講履歴や成績データの収集・管理が容易なことが挙げられるが、実際には集合研修やeラーニング研修の受講履歴はどのように管理、活用されているのだろうか。

アンケートの結果、約7割が「集合研修とeラーニング研修の受講履歴を別々に管理している」と回答した。内訳をみると、集合研修に関しては紙ベースで管理しているというケースと、集合研修・eラーニング研修共にデータをそれぞれ別管理しているというケースがほぼ半々となった。

反対に「集合研修とeラーニング研修の受講履歴をまとめて管理している」と答えたのは3割未満で、そのほとんどが「それぞれの履歴を人事データベース等他システムと連結して管理している」と回答した。「LRS(※)より双方の受講履歴を統合管理している」はわずか1%に留まった。

また、収集した受講履歴や成績データを分析し活用している企業は8割を超えることが分かった。活用先は「研修コース・内容の見直しや改善」(57.1%)、「教材・コンテンツの見直しや改善」(43.8%)、「研修時期・時間や受講方法の改善」(30.5%)、「人事評価」(18.1%)で、「活用していない」(17.1%)を大きく上回っている。

業種別では情報通信、教育、サービス、公務、金融・保険業における活用度が高く、多くの組織で受講履歴が積極的に活用されている現状が明らかとなった。

(※) LRS (Learning Record store) ……学習履歴を一律で格納するサービス

■ 2人に1人が「教育ビッグデータ活用に関心」

学びに関する様々な受講履歴や行動履歴、成績データなどの総称はいわゆる“教育ビッグデータ”と呼ばれる。アンケートでは、教育ビッグデータという言葉を知っているという回答は22.9%に留まるものの、その活用については約半数(46.67%)が「関心がある」と答えるなど、企業研修分野における活用に関心が高まりつつあることが分かった。

■ 「対象者の絞り込みでより高い学習効果を」「受けるべき研修をデータに基づき提案」ほか企業研修の課題解決や新しい世界観の実現に期待

教育ビッグデータの活用により企業研修におけるどのような課題解決や新しい世界観が可能となるのか？「研修対象者の絞り込みを行い研修を必要とする社員に対してのみ実施して高い学習効果を上げる」「どのような人にどのような研修を受けるべきか、統計的に分析して説得力を持って提案したい」など、アンケートでは研修対象者やニーズの分析を実現したいという声が多く見られた。さらに、「マネージャーに対する教育に役立てたい」（目的別教育への活用）、「どのような研修を行えば求める人材に育てることができるか把握したい」（研修効率化や効果の最大化）、「自発的に研修を受けさせるシステムを作りたい」（自発的学習環境の醸成）、「研修内容の理解度向上に繋がる方法論の追求」（理解度・研修の質向上）といった意見が上がった。

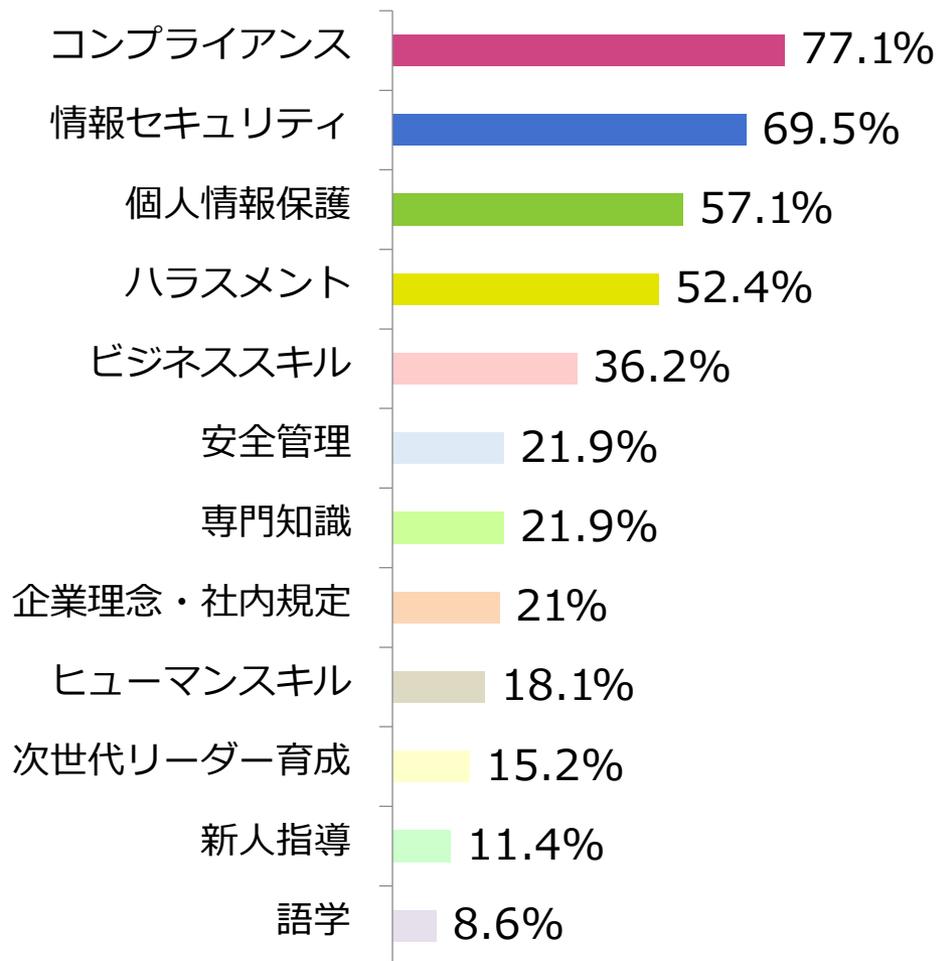
前項でも触れたように、データ分析の結果を研修内容や教材の見直しにすでに活用している企業が多いが、上記のようにさらに踏み込んだ効果や活用、企業研修の課題解決が期待されていることがうかがえる。

一方、企業研修分野における教育ビッグデータ活用の課題としては、「知識・スキルを持つ人材不足」(35.2%)、「システムの整備不足」(29.5%)、「導入効果が不明」(27.6%という結果となった。

4. アンケート調査結果

1. あなたの組織で実施しているeラーニング研修について教えてください。

【研修内容】



建設	100	サービス	85.7	教育	75.0
情報金融	100	サービス	85.7	金融	81.8
情報通信	100	建設	75.0	金融	72.7
情報通信	81.8	建設	75.0	情報	66.7
金融	100	情報	77.8	金融	54.5
医療	50.0	運輸	33.3	サービス	28.6
福祉	100	金融	54.5	公務	28.6
建設	55.6	建設	50.0	金融	45.5
情報	36.4	運輸	25.0	製造	23.8
金融	100	金融	36.4	運輸	33.3
福祉	27.3	運輸	16.7	公務	14.3
金融	25.0	サービス	14.3	卸売	12.5
教育		公務		小売	

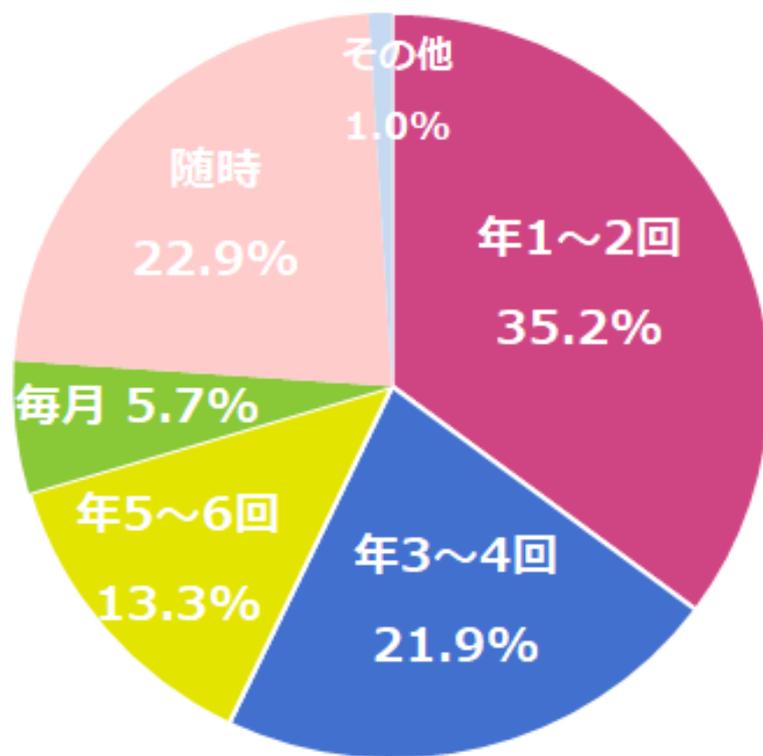
注1) 複数回答

注2) 「その他」は省略

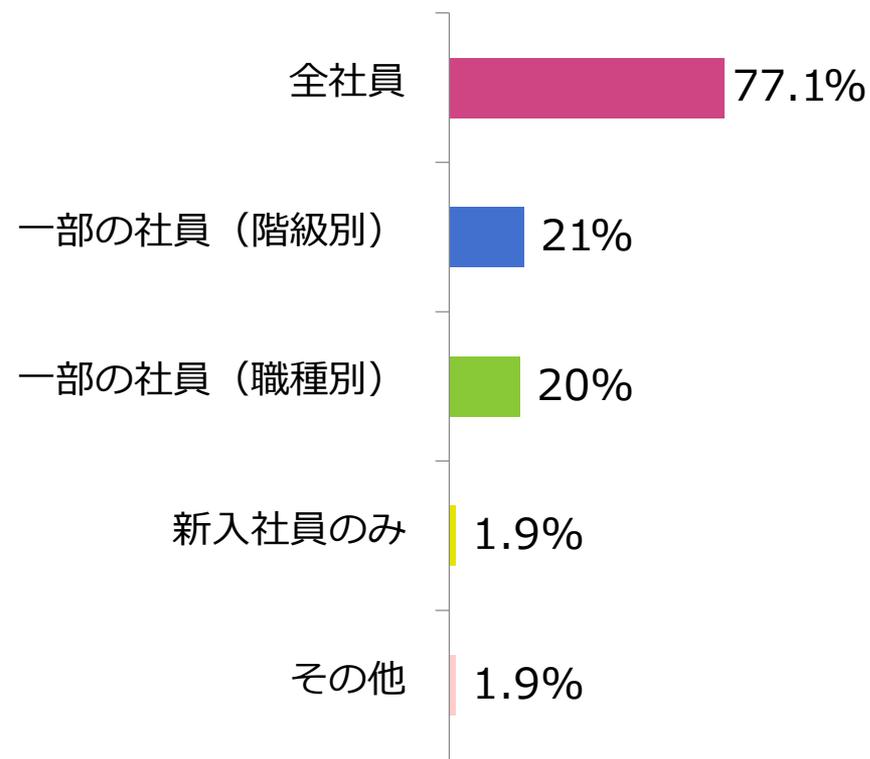
注3) 右の業種別結果は上位1~3位を抜粋

1. あなたの組織で実施しているeラーニング研修について教えてください。

【実施頻度】

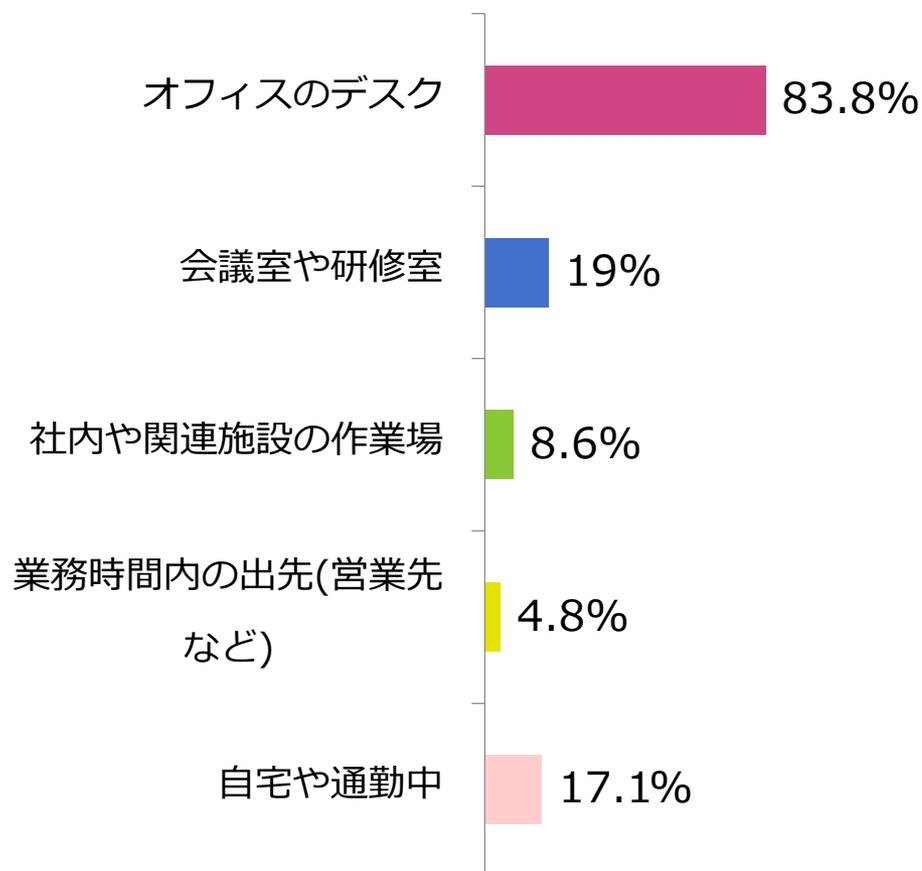


【対象者】

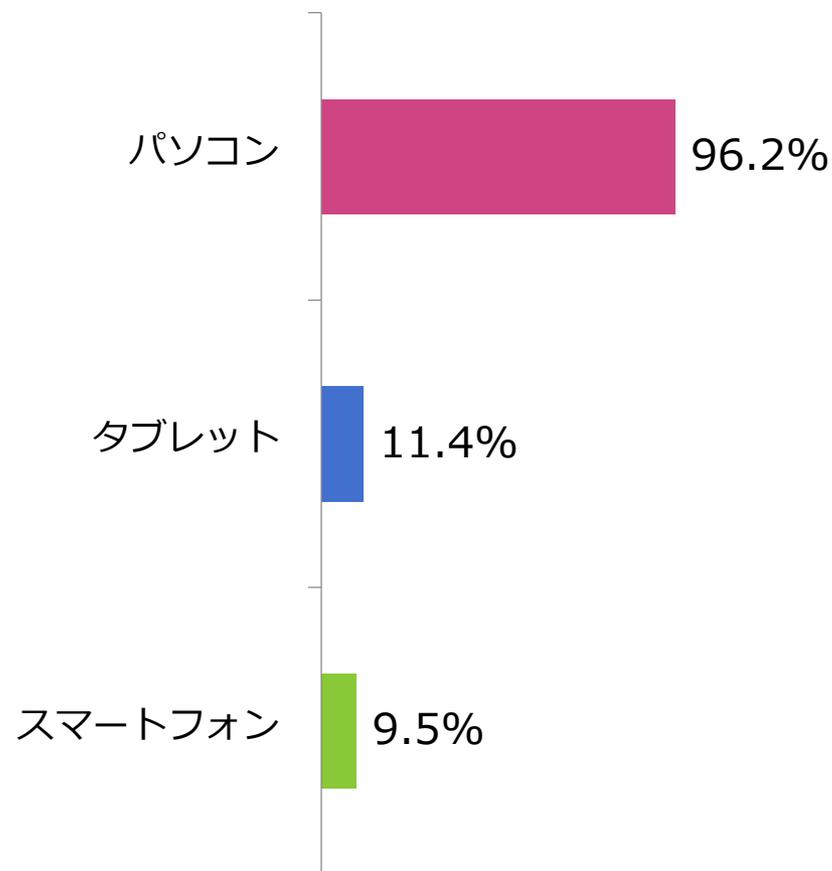


1. あなたの組織で実施しているeラーニング研修について教えてください。

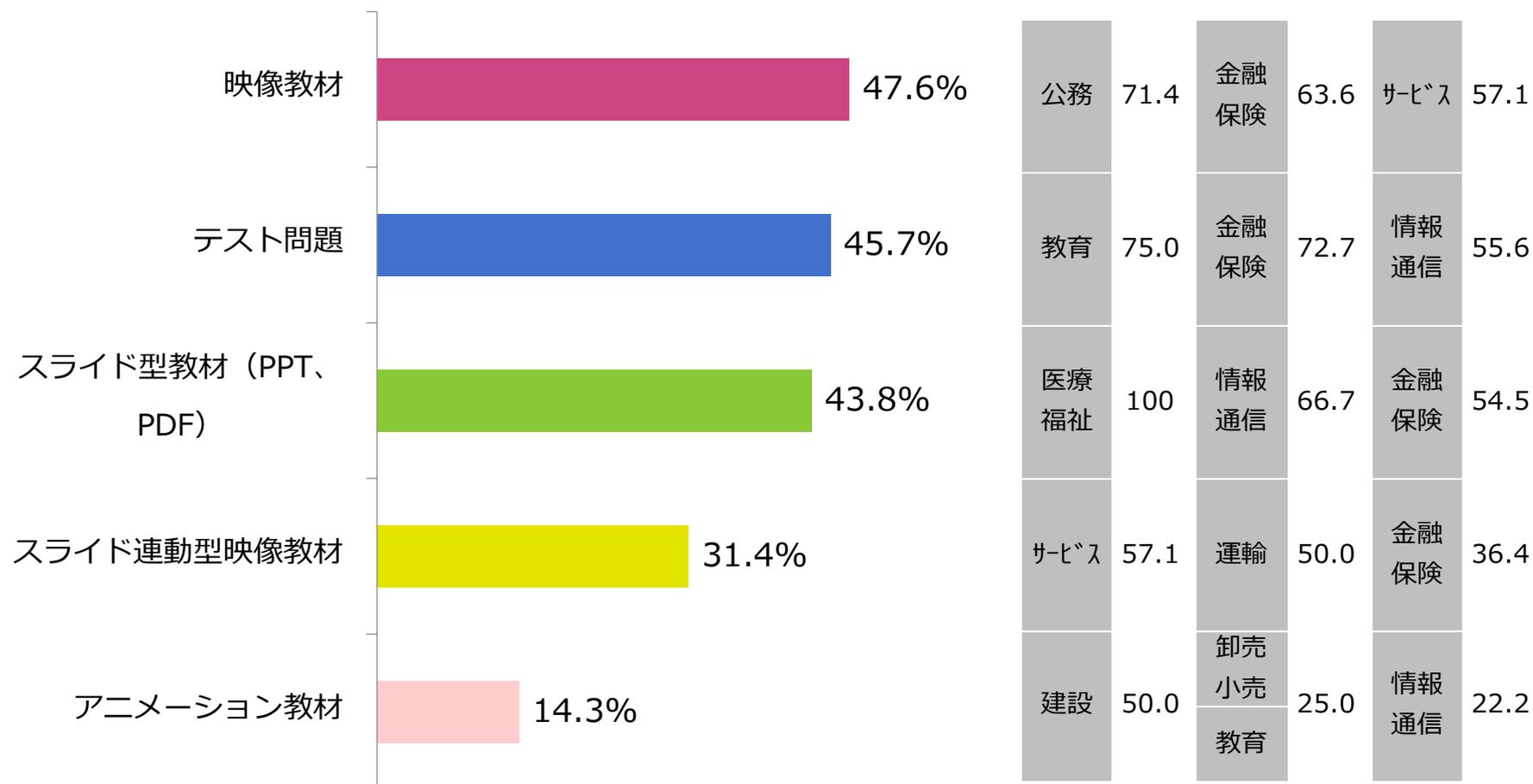
【受講場所】



【受講デバイス】



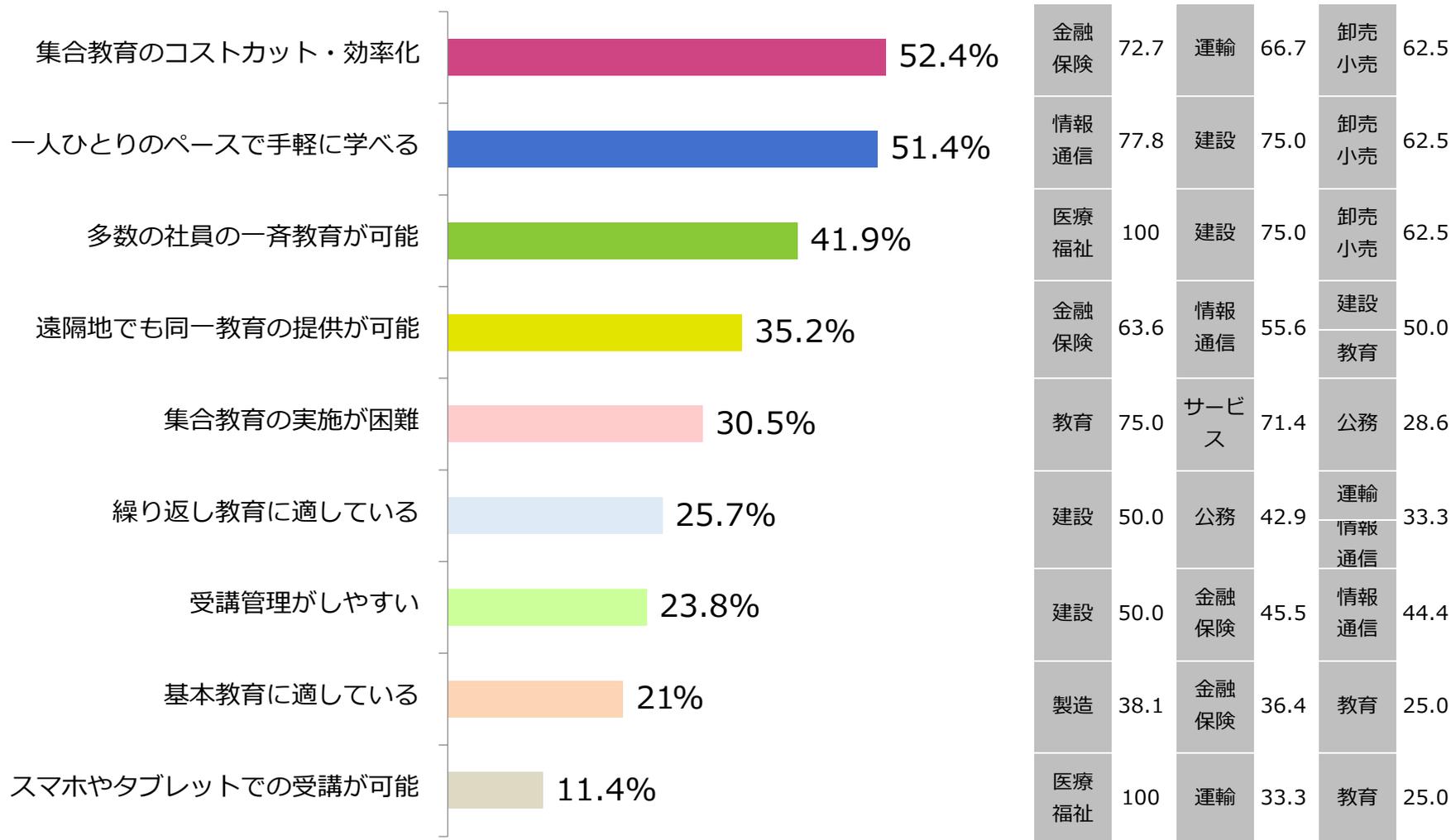
2. eラーニング研修で使用している教材を教えてください。



注1) 複数回答

注2) 右の業種別結果は上位1~3位を抜粋

3. eラーニング研修の導入理由について当てはまるものを全てお答えください。



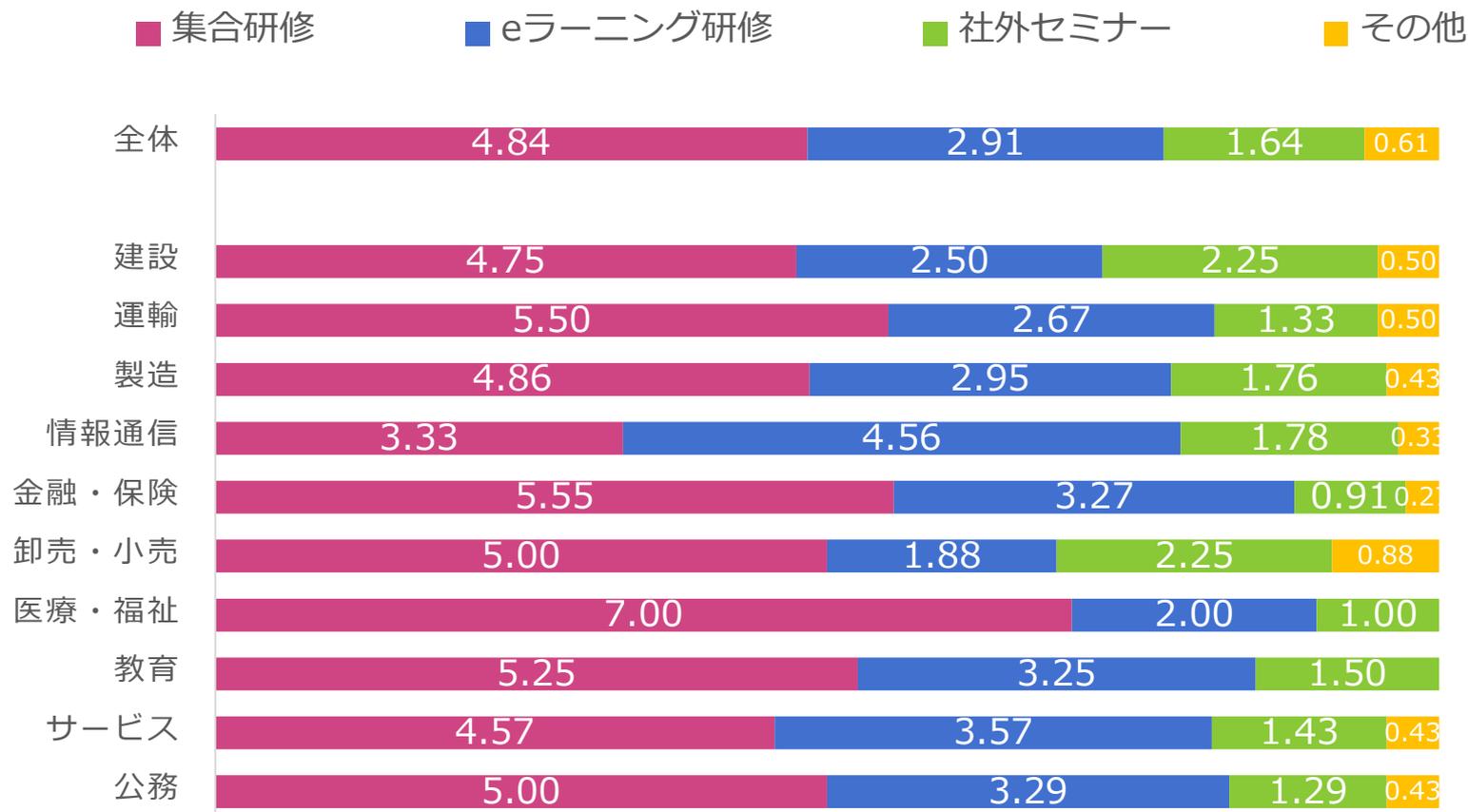
注1) 複数回答

注2) 「その他」「わからない」は省略

注3) 右の業種別結果は上位1~3位を抜粋

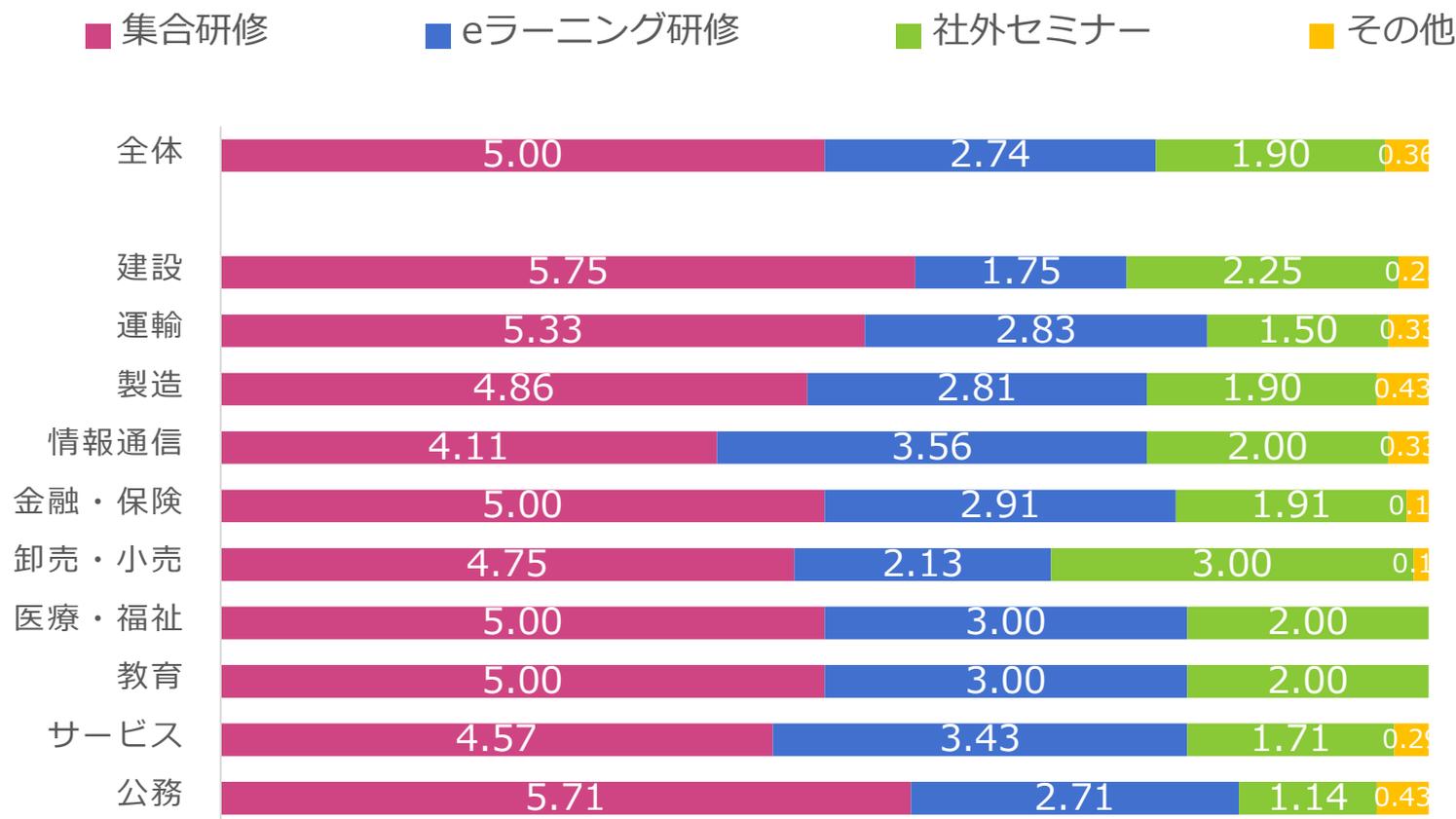
4. 現在実施している研修・セミナーの「社内における重要度」と「予算配分」の比率はどのくらいですか？近いものをお答えください。

【社内における重要度】



注1) 全体を10とした平均値

注2) 業種の「その他」「不明」は省略

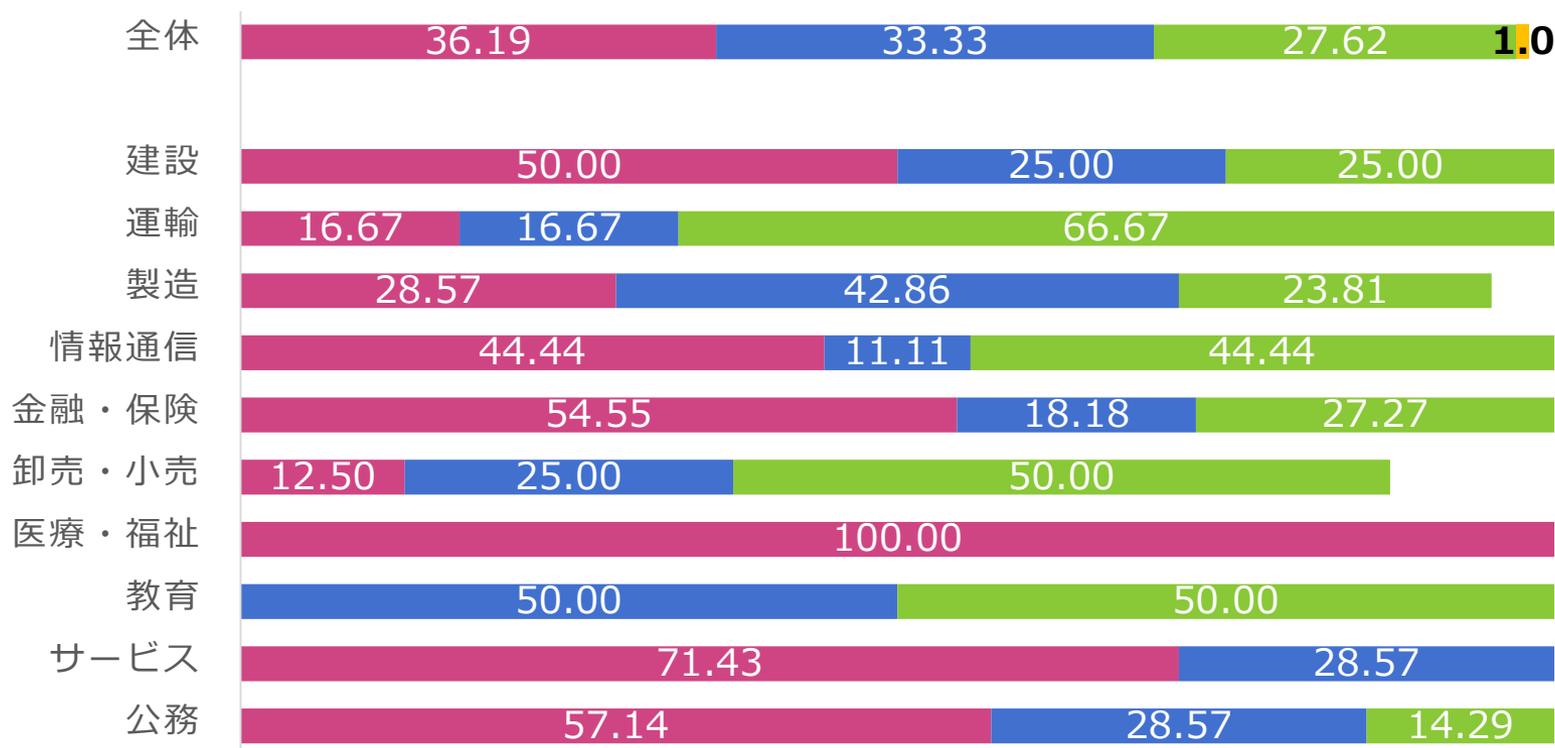


注1) 全体を10とした平均値

注2) 業種の「その他」「不明」は省略

5. 集合研修やeラーニング研修の受講履歴はどのように管理されていますか？

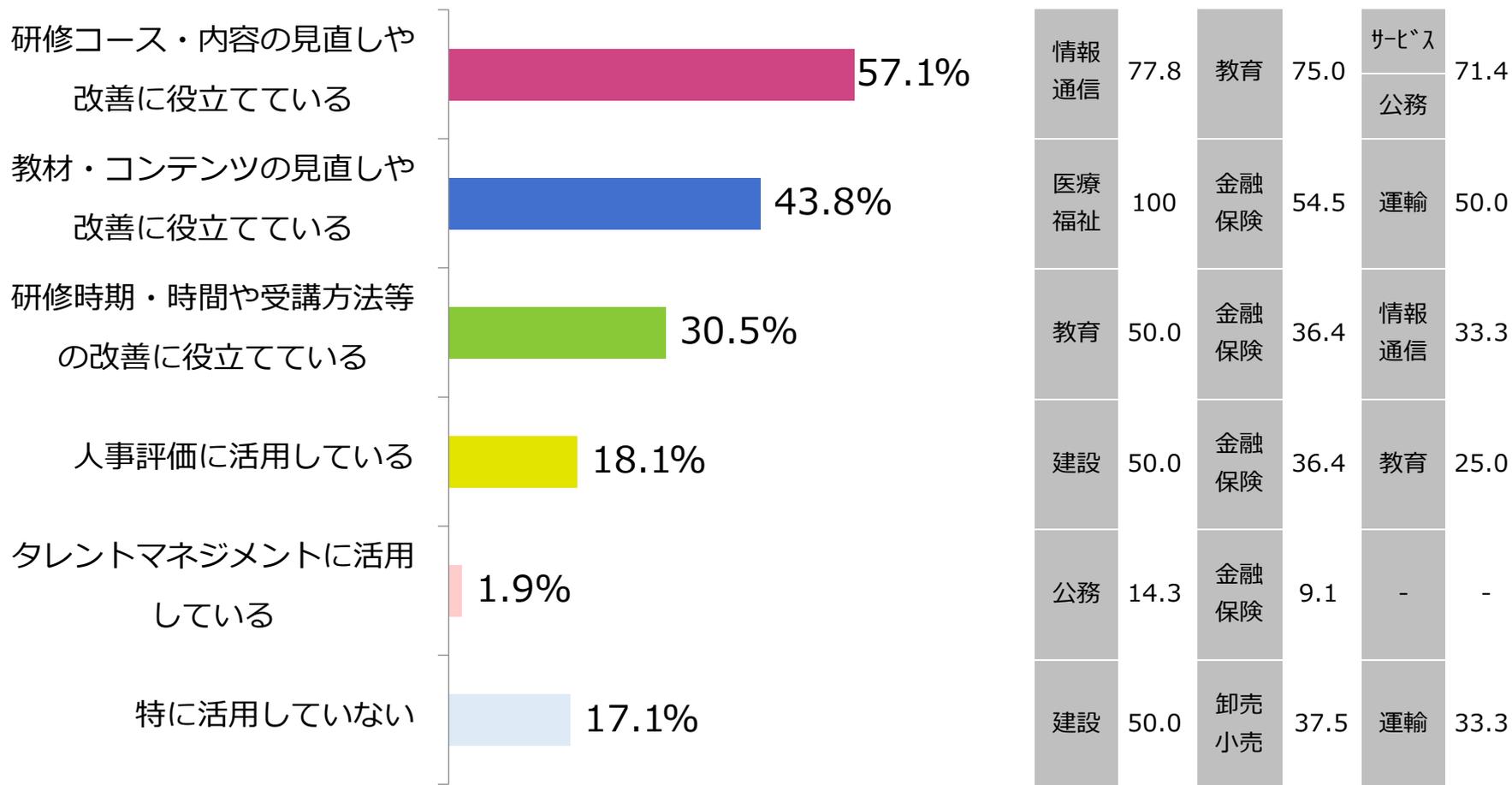
- 別々に管理（集合研修は紙ベースで、eラーニング研修はeラーニングシステム上で管理）
- 別々に管理（それぞれデータで別管理、eラーニング研修はeラーニングシステム上で管理）
- まとめて管理（それぞれの履歴を人事データベース等他システムと連結して管理）
- LRS（※）により双方の受講履歴を統合管理



※注1) LRS (Learning Record store) …学習履歴を一律で格納するサービス

※注2) 業種の「その他」「不明」は省略

6. 集合研修やeラーニング研修の受講履歴や結果を分析して何らかの形で活用していますか？

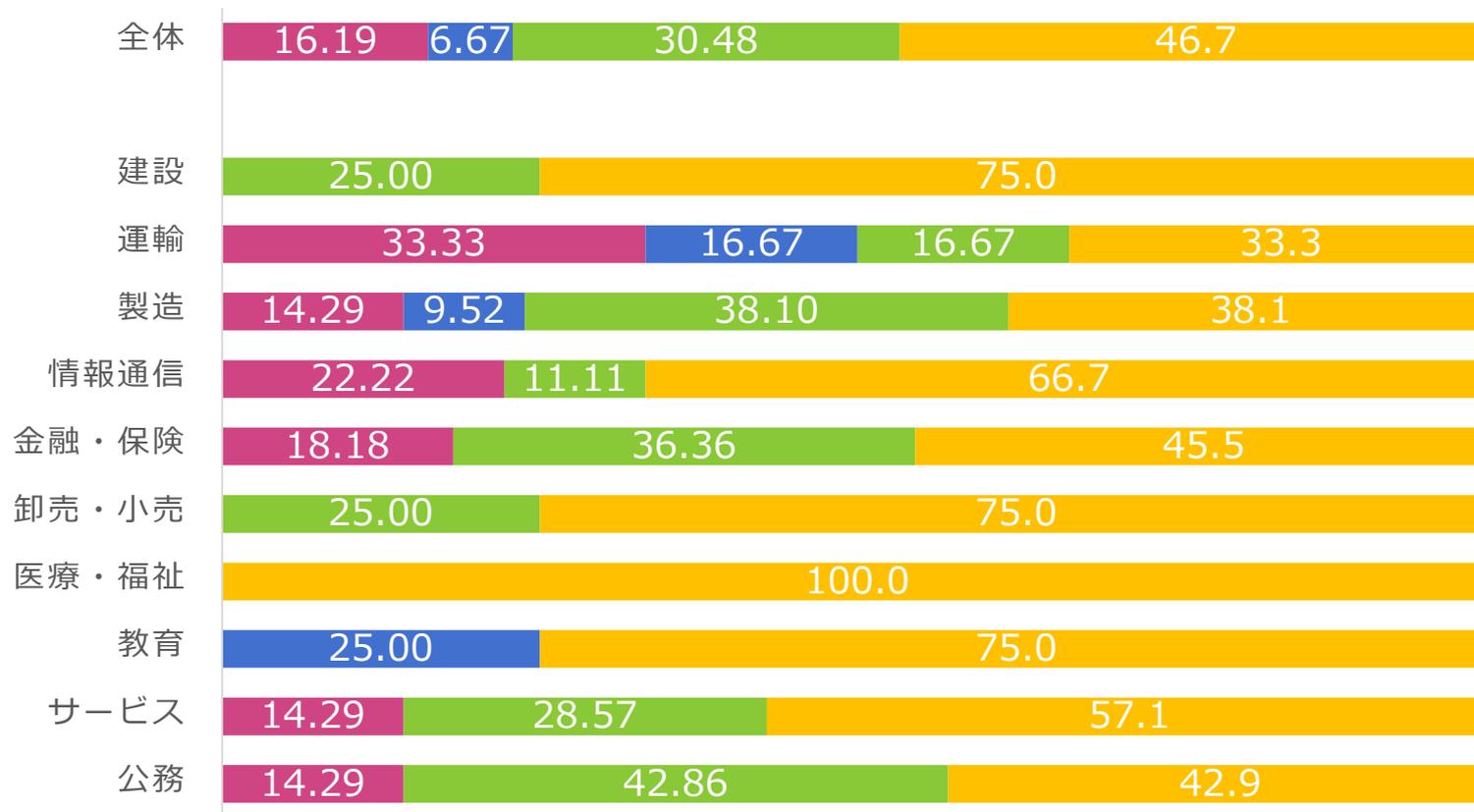


注1) 複数回答

注2) 右の業種別結果は上位1~3位を抜粋

7. 企業研修分野における教育ビッグデータ活用が注目をされていますがご存知ですか？その理由もお聞かせください。

■ 知っているし関心がある
 ■ 知っているが関心はない
 ■ よく知らないが関心がある
 ■ よく知らないし関心もない



7. 企業研修分野における教育ビッグデータ活用が注目をされていますがご存知ですか？その理由もお聞かせください。

知っているし関心がある

- ・よりニーズに合った研修の作り込みができるから（50代男性）
- ・効率化をはかるには一番よいと思う（40代男性）
- ・有効だから（30代男性）

知っているが関心はない

- ・直接的に関わりがないから（40代男性）
- ・必要がないので（30代女性）
- ・その時が来たら準備する（30代男性）

良く知らないが関心がある

- ・教育担当のため、効率化したい（30代男性）
- ・研修効果を高めることができそうだから（60代男性）
- ・どのように活用されているのか気になる（30代女性）
- ・研修をブラッシュアップするためなら何でも試したい（40代女性）
- ・ビックデータを教育に活用しているのをしらなかった（20代女性）
- ・履歴管理だけでなく効果の検証も重要（50代男性）

よく知らないし関心もない

- ・どのように活用できるのかまだイメージがわからないから（50代男性）
- ・官公庁なので外部のデータが使用できないから（50代男性）
- ・研修を受けるが企画運営する立場でないため状況は理解していない（50代男性）
- ・教育データに携わっていない（40代女性）
- ・職員の数が小規模だから（50代男性）
- ・聞いたことがないから（30代女性）

注1) アンケートから一部抜粋

8. 教育ビッグデータの活用が企業研修における課題解決につながるとしたら どんなことを実現したいですか？

適性分析・ニーズ分析

- ・研修対象者の絞り込みを行い研修を必要とする社員に対してのみ実施して高い学習効果を上げる（20代女性）
- ・どのような人にどのような研修を受けるべきか、統計的に分析して説得力を持って提案したい（50代女性）
- ・従業員の適性分析（50代男性）
- ・潜在的ニーズの発掘（50代男性）
- ・生徒側が知りたい、学びたいと強く思う所をピンポイントに知り、講義などでも重点的に時間を注ぎたい（20代女性）

目的別教育への活用

- ・マネージャーに対する教育に役立てたい（30代女性）
- ・部下育成のモデルケースを学びたい（50代男性）
- ・ボトムアップ（40代男性）
- ・昇格試験に利用（50代男性）
- ・承認試験の簡素化（40代男性）

研修効率化・効果の最大化

- ・どの研修で得たものが結果につながるのか（20代女性）
- ・どのような研修を行えば、求める人材に育てることが出来るか把握して教育したい（30代女性）
- ・如何に効率よく人材育成ができるかを学びたい（40代男性）
- ・受験傾向とパフォーマンス（50代男性）

研修内容の見直し・充実

- ・研修内容の見直し（30代女性）
- ・新たな研修科目の増化（50代男性）
- ・コンプライアンスとハラスメントがなくなる企業風土醸成（40代女性）
- ・情報漏えいの防御、セキュリティの質の向上（40代女性）

8. 教育ビッグデータの活用が企業研修における課題解決につながるとしたら どんなことを実現したいですか？

研修の理解度・質向上

- ・理解を深めるための方策（40代男性）
- ・研修内容の理解度向上に繋がる方法論の追求（50代男性）
- ・飽きの来ない教育研修（60代男性）
- ・より質の高い、個々に適した研修。また、評価にも活用できる（50代男性）

自発的学習環境の醸成

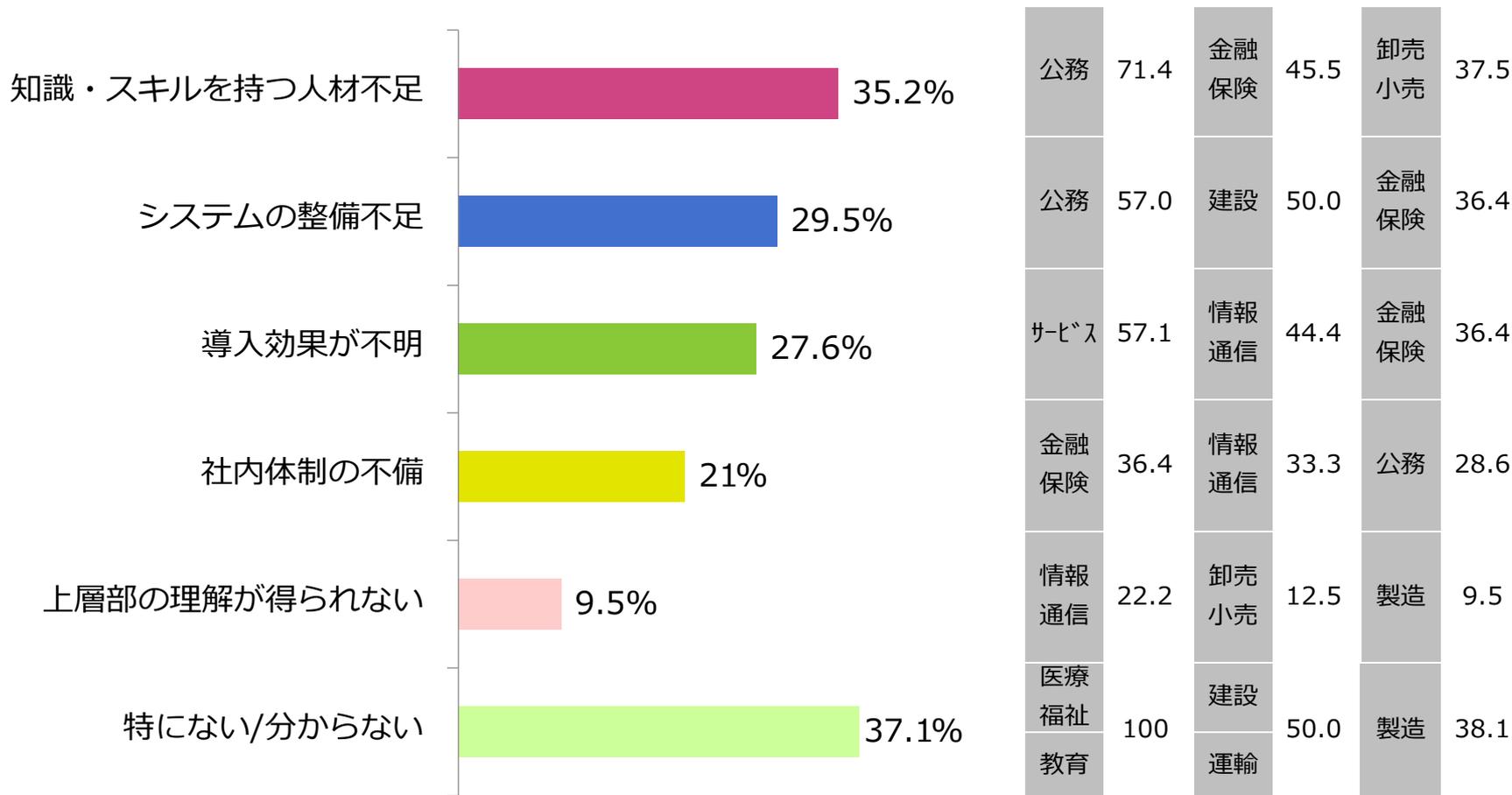
- ・自発的に研修を受けさせるシステムを作りたい（40代女性）
- ・研修以外に社員に効果的に気付きを与える方法を知りたい（50代男性）
- ・自己啓発のきっかけになれば良い（50代男性）

その他

- ・より費用対効果がよくなるようにしていきたい（50代男性）
- ・コストも下げられる（60代男性）
- ・仕事ができる人間の選抜（50代男性）
- ・時間短縮（30代男性）
- ・多様性を知りたい（40代女性）
- ・働きやすさ（30代男性）
- ・生涯学習の動向（30代女性）

注1) アンケートから一部抜粋

9. 企業研修分野における教育ビッグデータ活用の課題は何だと思えますか？



注1) 複数回答 注2) 「その他」は省略
 注3) 右の業種別結果は上位1~3位を抜粋

5. 調査データ 【業種別クロス表】

1. あなたの組織で実施しているeラーニング研修について教えてください。

【研修内容】

	全体	コンプライアンス	情報セキュリティ	個人情報保護	ハラスメント	ビジネススキル	安全管理	専門知識	企業理念・社内規定	ヒューマンスキル	次世代リーダー育成	新人指導	語学	その他
全体	105 100.0	81 77.1	73 69.5	60 57.1	55 52.4	38 36.2	23 21.9	23 21.9	22 21.0	19 18.1	16 15.2	12 11.4	9 8.6	3 2.9
建設	4 100.0	4 100.0	3 75.0	3 75.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
運輸	6 100.0	4 66.7	2 33.3	3 50.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	3 50.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0
製造	21 100.0	15 71.4	17 81.0	10 47.6	10 47.6	6 28.6	4 19.0	3 14.3	3 14.3	5 23.8	5 23.8	2 9.5	2 9.5	0 0.0
情報通信	9 100.0	9 100.0	9 100.0	9 100.0	6 66.7	7 77.8	2 22.2	2 22.2	5 55.6	2 22.2	1 11.1	1 11.1	1 11.1	0 0.0
金融・保険	11 100.0	11 100.0	9 81.8	8 72.7	9 81.8	6 54.5	3 27.3	6 54.5	5 45.5	4 36.4	4 36.4	3 27.3	1 9.1	0 0.0
卸売・小売	8 100.0	4 50.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	3 37.5
医療・福祉	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
教育	4 100.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
サービス	7 100.0	6 85.7	6 85.7	5 71.4	5 71.4	2 28.6	2 28.6	1 14.3	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0
公務	7 100.0	5 71.4	2 28.6	2 28.6	2 28.6	1 14.3	2 28.6	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0
その他	7 100.0	5 71.4	5 71.4	2 28.6	3 42.9	3 42.9	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0

1. あなたの組織で実施しているeラーニング研修について教えてください。

【実施頻度】

	全体	年1~2回	年3~4回	年5~6回	毎月	随時	その他
全体	105 100.0	37 35.2	23 21.9	14 13.3	6 5.7	24 22.9	1 1.0
建設	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
運輸	6 100.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7
製造	21 100.0	7 33.3	5 23.8	5 23.8	1 4.8	3 14.3	0 0.0
情報通信	9 100.0	2 22.2	1 11.1	3 33.3	0 0.0	3 33.3	0 0.0
卸売・小売	8 100.0	3 37.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	3 37.5	0 0.0
金融・保険	11 100.0	2 18.2	3 27.3	1 9.1	0 0.0	5 45.5	0 0.0
医療・福祉	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
教育	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
サービス	7 100.0	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0
公務	7 100.0	4 57.1	1 14.3	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0
その他	7 100.0	4 57.1	2 28.6	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0

【対象者】

	全体	全社員	一部社員 (職種)	一部社員 (階級)	新入社員 のみ	その他
全体	105 100.0	81 77.1	21 20.0	22 21.0	2 1.9	2 1.9
建設	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
運輸	6 100.0	5 83.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0
製造	21 100.0	16 76.2	8 38.1	6 28.6	0 0.0	0 0.0
情報通信	9 100.0	8 88.9	3 33.3	3 33.3	1 11.1	0 0.0
金融・保険	11 100.0	8 72.7	3 27.3	1 9.1	0 0.0	0 0.0
卸売・小売	8 100.0	7 87.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0
医療・福祉	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
教育	4 100.0	3 75.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
サービス	7 100.0	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
公務	7 100.0	4 57.1	2 28.6	2 28.6	0 0.0	0 0.0
その他	7 100.0	5 71.4	0 0.0	3 42.9	1 14.3	0 0.0

1. あなたの組織で実施しているeラーニング研修について教えてください。

【受講場所】

	全体	オフィス のデスク	会議室や 研修室	社内や 関連施設の 作業場	業務時間内 の出先	自宅や 通勤中	その他
全体	105 100.0	88 83.8	20 19.0	9 8.6	5 4.8	18 17.1	0 0.0
建設	4 100.0	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
運輸	6 100.0	4 66.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	2 33.3	0 0.0
製造	21 100.0	18 85.7	4 19.0	1 4.8	1 4.8	2 9.5	0 0.0
情報通信	9 100.0	7 77.8	3 33.3	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0
金融・保険	11 100.0	10 90.9	1 9.1	2 18.2	1 9.1	3 27.3	0 0.0
卸売・小売	8 100.0	7 87.5	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
医療・福祉	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
教育	4 100.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
サービス	7 100.0	7 100.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0
公務	7 100.0	6 85.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0
その他	7 100.0	6 85.7	2 28.6	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0

【受講デバイス】

	全体	パソコン	タブレット	スマート フォン	その他
全体	105 100.0	101 96.2	12 11.4	10 9.5	0 0.0
建設	4 100.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
運輸	6 100.0	6 100.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0
製造	21 100.0	20 95.2	2 9.5	0 0.0	0 0.0
情報通信	9 100.0	9 100.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0
金融・保険	11 100.0	10 90.9	2 18.2	2 18.2	0 0.0
卸売・小売	8 100.0	8 100.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
医療・福祉	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
教育	4 100.0	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
サービス	7 100.0	7 100.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0
公務	7 100.0	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	7 100.0	6 85.7	2 28.6	1 14.3	0 0.0

2. eラーニング研修で使用している教材を教えてください。

	全体	映像教材	テスト問題	スライド型教材 (PPT、PDF)	スライド連動型 映像教材	アニメーション 教材
全体	105 100.0	50 47.6	48 45.7	46 43.8	33 31.4	15 14.3
建設	4 100.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0
運輸	6 100.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	3 50.0	1 16.7
製造	21 100.0	11 52.4	7 33.3	9 42.9	7 33.3	1 4.8
情報通信	9 100.0	2 22.2	5 55.6	6 66.7	3 33.3	2 22.2
金融・保険	11 100.0	7 63.6	8 72.7	6 54.5	4 36.4	1 9.1
卸売・小売	8 100.0	2 25.0	2 25.0	4 50.0	2 25.0	2 25.0
医療・福祉	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
教育	4 100.0	2 50.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
サービス	7 100.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	4 57.1	1 14.3
公務	7 100.0	5 71.4	3 42.9	3 42.9	2 28.6	1 14.3
その他	7 100.0	3 42.9	4 57.1	2 28.6	2 28.6	1 14.3

3. eラーニング研修の導入理由について当てはまるものを全てお答えください。

	全体	集合教育 のコスト カット・ 効率化	一人ひと りのペー スで手軽 に学べる	多数の社 員の一斉 教育が可 能	遠隔地で も同一教 育の提供 が可能	集合教育 の実施が 困難	繰り返し 教育に適 している	受講管理 がしやす い	基本教育 に適して いる	スマホや タブレット での受講 が可能	その他	分から ない
全体	105 100.0	55 52.4	54 51.4	44 41.9	37 35.2	32 30.5	27 25.7	25 23.8	22 21.0	12 11.4	1 1.0	6 5.7
建設	4 100.0	1 25.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
製造	21 100.0	10 47.6	10 47.6	7 33.3	7 33.3	3 14.3	6 28.6	3 14.3	8 38.1	3 14.3	0 0.0	1 4.8
卸売・小売	8 100.0	5 62.5	5 62.5	5 62.5	3 37.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0
金融・保険	11 100.0	8 72.7	4 36.4	6 54.5	7 63.6	3 27.3	3 27.3	5 45.5	4 36.4	2 18.2	0 0.0	0 0.0
その他	7 100.0	3 42.9	4 57.1	3 42.9	0 0.0	3 42.9	1 14.3	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
運輸	6 100.0	4 66.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	2 33.3	0 0.0	1 16.7
情報通信	9 100.0	5 55.6	7 77.8	4 44.4	5 55.6	1 11.1	3 33.3	4 44.4	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0
医療・福祉	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
教育	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
サービス	7 100.0	4 57.1	3 42.9	3 42.9	1 14.3	5 71.4	1 14.3	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
公務	7 100.0	1 14.3	4 57.1	2 28.6	1 14.3	2 28.6	3 42.9	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3

4. 現在実施している研修・セミナーの「社内における重要度」と「予算配分」の比率はどのくらいですか？近いものをお答えください。

【社内における重要度】

	集合研修	eラーニング 研修	社外セミ ナー	その他
全体	4.84	2.91	1.64	0.61
建設	4.75	2.50	2.25	0.50
運輸	5.50	2.67	1.33	0.50
製造	4.86	2.95	1.76	0.43
情報通信	3.33	4.56	1.78	0.33
金融・保険	5.55	3.27	0.91	0.27
卸売・小売	5.00	1.88	2.25	0.88
医療・福祉	7.00	2.00	1.00	0.00
教育	5.25	3.25	1.50	0.00
サービス	4.57	3.57	1.43	0.43
公務	5.00	3.29	1.29	0.43
その他	5.14	1.57	1.86	1.43

【予算配分】

	集合研修	eラーニング 研修	社外セミ ナー	その他
全体	5.00	2.74	1.90	0.36
建設	5.75	1.75	2.25	0.25
運輸	5.33	2.83	1.50	0.33
製造	4.86	2.81	1.90	0.43
情報通信	4.11	3.56	2.00	0.33
金融・保険	5.00	2.91	1.91	0.18
卸売・小売	4.75	2.13	3.00	0.13
医療・福祉	5.00	3.00	2.00	0.00
教育	5.00	3.00	2.00	0.00
サービス	4.57	3.43	1.71	0.29
公務	5.71	2.71	1.14	0.43
その他	5.14	2.86	1.57	0.43

5. 集合研修やeラーニング研修の受講履歴はどのように管理されていますか？

	全体	別々に管理 (集合研修は紙ベース で、eラーニング研修 はeラーニングシステム 上で管理)	別々に管理 (それぞれデータで別 管理、eラーニング研修 はeラーニングシステム 上で管理)	まとめて管理 (それぞれの履歴を人 事データベース等他シ ステムと連結して管 理)	LRSにより双方の 受講履歴を統合管理	その他
全体	105 100.0	38 36.2	35 33.3	29 27.6	1 1.0	2 1.9
建設	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
運輸	6 100.0	1 16.7	1 16.7	4 66.7	0 0.0	0 0.0
製造	21 100.0	6 28.6	9 42.9	5 23.8	0 0.0	1 4.8
情報通信	9 100.0	4 44.4	1 11.1	4 44.4	0 0.0	0 0.0
金融・保険	11 100.0	6 54.5	2 18.2	3 27.3	0 0.0	0 0.0
卸売・小売	8 100.0	1 12.5	2 25.0	4 50.0	0 0.0	1 12.5
医療・福祉	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
教育	4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
サービス	7 100.0	5 71.4	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
公務	7 100.0	4 57.1	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0
その他	7 100.0	3 42.9	3 42.9	1 14.3	0 0.0	0 0.0

6. 集合研修やeラーニング研修の受講履歴や結果を分析して何らかの形で活用していますか？

	全体	研修コース・内容の見直しや改善に役立っている	教材・コンテンツの見直しや改善に役立っている	研修実施時期・時間や受講の仕方等の改善に役立っている	人事評価に活用している	タレントマネジメントに活用している	その他	特に何もしていない
全体	105 100.0	60 57.1	46 43.8	32 30.5	19 18.1	2 1.9	0 0.0	18 17.1
建設	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
運輸	6 100.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3
製造	21 100.0	10 47.6	9 42.9	5 23.8	3 14.3	0 0.0	0 0.0	5 23.8
情報通信	9 100.0	7 77.8	2 22.2	3 33.3	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
金融・保険	11 100.0	4 36.4	6 54.5	4 36.4	4 36.4	1 9.1	0 0.0	1 9.1
卸売・小売	8 100.0	2 25.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	3 37.5
医療・福祉	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
教育	4 100.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
サービス	7 100.0	5 71.4	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3
公務	7 100.0	5 71.4	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0	2 28.6
その他	7 100.0	5 71.4	2 28.6	3 42.9	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6

7. 企業研修分野における教育ビッグデータ活用が注目をされていますがご存知ですか？その理由もお聞かせください。

	全体	知っているし 関心がある	知っているが 関心はない	よく知らないが 関心がある	よく知らないし 関心もない
全体	105 100.0	17 16.2	7 6.7	32 30.5	49 46.7
建設	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0
運輸	6 100.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	2 33.3
製造	21 100.0	3 14.3	2 9.5	8 38.1	8 38.1
情報通信	9 100.0	2 22.2	0 0.0	1 11.1	6 66.7
金融・保険	11 100.0	2 18.2	0 0.0	4 36.4	5 45.5
卸売・小売	8 100.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	6 75.0
医療・福祉	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
教育	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0
サービス	7 100.0	1 14.3	0 0.0	2 28.6	4 57.1
公務	7 100.0	1 14.3	0 0.0	3 42.9	3 42.9
その他	7 100.0	1 14.3	2 28.6	2 28.6	2 28.6

7. 企業研修分野における教育ビッグデータ活用が注目をされていますがご存知ですか？その理由もお聞かせください。

知っているし関心がある

- ・よりニーズに合った研修の作り込みができるから（50代男性）
- ・効率化をはかるには一番よいと思う（40代男性）
- ・有効だから（30代男性）

知っているが関心はない

- ・直接的に関わりがないから（40代男性）
- ・必要がないので（30代女性）
- ・その時が来たら準備する（30代男性）

良く知らないが関心がある

- ・教育担当のため、効率化したい（30代男性）
- ・研修効果を高めることができそうだから（60代男性）
- ・どのように活用されているのか気になる（30代女性）
- ・研修をブラッシュアップするためなら何でも試したい（40代女性）
- ・ビックデータを教育に活用しているのをしらなかった（20代女性）
- ・履歴管理だけでなく効果の検証も重要（50代男性）

よく知らないし関心もない

- ・どのように活用できるのかまだイメージがわからないから（50代男性）
- ・官公庁なので外部のデータが使用できないから（50代男性）
- ・研修を受けるが企画運営する立場でないため状況は理解していない（50代男性）
- ・教育データに携わっていない（40代女性）
- ・職員の数が小規模だから（50代男性）
- ・聞いたことがないから（30代女性）

注1) アンケートから一部抜粋

8. 教育ビッグデータの活用が企業研修における課題解決につながるとしたら どんなことを実現したいですか？

適性分析・ニーズ分析

- ・研修対象者の絞り込みを行い研修を必要とする社員に対してのみ実施して高い学習効果を上げる（20代女性）
- ・どのような人にどのような研修を受けるべきか、統計的に分析して説得力を持って提案したい（50代女性）
- ・従業員の適性分析（50代男性）
- ・潜在的ニーズの発掘（50代男性）
- ・生徒側が知りたい、学びたいと強く思う所をピンポイントに知り、講義などでも重点的に時間を注ぎたい（20代女性）

目的別教育への活用

- ・マネージャーに対する教育に役立てたい（30代女性）
- ・部下育成のモデルケースを学びたい（50代男性）
- ・ボトムアップ（40代男性）
- ・昇格試験に利用（50代男性）
- ・承認試験の簡素化（40代男性）

研修効率化・効果の最大化

- ・どの研修で得たものが結果につながるのか（20代女性）
- ・どのような研修を行えば、求める人材に育てることが出来るか把握して教育したい（30代女性）
- ・如何に効率よく人材育成ができるかを学びたい（40代男性）
- ・受験傾向とパフォーマンス（50代男性）

研修内容の見直し・充実

- ・研修内容の見直し（30代女性）
- ・新たな研修科目の増化（50代男性）
- ・コンプライアンスとハラスメントがなくなる企業風土醸成（40代女性）
- ・情報漏えいの防御、セキュリティの質の向上（40代女性）

8. 教育ビッグデータの活用が企業研修における課題解決につながるとしたら どんなことを実現したいですか？

研修の理解度・質向上

- ・理解を深めるための方策（40代男性）
- ・研修内容の理解度向上に繋がる方法論の追求（50代男性）
- ・飽きの来ない教育研修（60代男性）
- ・より質の高い、個々に適した研修。また、評価にも活用できる（50代男性）

自発的学習環境の醸成

- ・自発的に研修を受けさせるシステムを作りたい（40代女性）
- ・研修以外に社員に効果的に気付きを与える方法を知りたい（50代男性）
- ・自己啓発のきっかけになれば良い（50代男性）

その他

- ・より費用対効果がよくなるようにしていきたい（50代男性）
- ・コストも下げられる（60代男性）
- ・仕事ができる人間の選抜（50代男性）
- ・時間短縮（30代男性）
- ・多様性を知りたい（40代女性）
- ・働きやすさ（30代男性）
- ・生涯学習の動向（30代女性）

注1) アンケートから一部抜粋

9. 企業研修分野における教育ビッグデータ活用の課題は何だと思えますか？

	全体	知識・スキルを 持つ人材不足	システムの 整備不足	導入効果が 不明	社内体制の 不備	上層部の理解が 得られない	その他	特にな 分らない
全体	105 100.0	37 35.2	31 29.5	29 27.6	22 21.0	10 9.5	1 1.0	39 37.1
建設	4 100.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
運輸	6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	3 50.0
製造	21 100.0	7 33.3	6 28.6	5 23.8	2 9.5	2 9.5	0 0.0	8 38.1
情報通信	9 100.0	2 22.2	3 33.3	4 44.4	3 33.3	2 22.2	1 11.1	2 22.2
金融・保険	11 100.0	5 45.5	4 36.4	4 36.4	4 36.4	0 0.0	0 0.0	3 27.3
卸売・小売	8 100.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	3 37.5
医療・福祉	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
教育	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
サービス	7 100.0	2 28.6	2 28.6	4 57.1	1 14.3	0 0.0	0 0.0	2 28.6
公務	7 100.0	5 71.4	4 57.1	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6
その他	7 100.0	1 14.3	2 28.6	1 14.3	2 28.6	2 28.6	0 0.0	3 42.9

企業におけるeラーニング研修と教育ビッグデータ活用に関する調査報告書

デジタル・ナレッジ 調査

検索

2018年1月発行

発行：株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute
株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>